



ありがとうが、
あふれる世界を。

ここ知恩院は浄土宗にとつてとても大切な場所ですが、佛教大学にとつても同様です。知恩院の三門の前に横長の石碑があり、「佛教大学建学之地」と刻まれています。ここ知恩院は佛教大学の原点なのです。佛教大学が目指すのは仏教精神に基づく人格の形成や人間教育です。仏教精神といえば、古臭いと感じるかもしれませんが、私たちはそうは考えていません。例えば感謝の気持ち、生命尊重、極端に走らない中道、多様性を受け入れる――。まさに現代のわれわれ人間に必要なものが仏教精神なのです。

佛教大学は今年で開学113年の歴史を紡いでいます。歴史や伝統を大切にしながらもますます進化する大学を象徴するべく、4月から大学のロゴマークを変えました。また、私たちが目指すべき姿を現したタグラインも変更しました。「ありがとうが、あふれる世界を。」これこそが佛教大学が目指す方向性、スローガンです。「ありがとう」という言葉は、元々は「有り難し」という仏教用語に由来します。人間として生まれてくることはとても難しく、稀、奇跡的なことなんです。私たちはモノがなければ欲しいと思ひ、あればあつ

佛教大学が目指す「ありがとうが、あふれる世界を。」

本日は、私が今感じている子育て・孫育てのヒントになることを少しお話しさせていただきます。

法話

明るく 正しく 仲よく ～子育て・孫育ての秘訣

佛教大学学長 佐藤和順
佛教大学附属こども園園長

7月18日に知恩院でおこなわれた暁天講座での法話の要旨を採録しました。



佐藤和順（さとう かずゆき）

1965（昭和40）年 広島県生まれ。総本山知恩院布教師。2020（令和2）年から広島教区定福寺住職。同志社大学文学部卒業・早稲田大学第一文学部卒業、兵庫教育大学大学院連合学校教育学専攻修士課程修了。博士（学校教育学）。岡山県立大学保健福祉学部教授、2019（平成31）年に佛教大学教育学部教授。その後、佛教大学附属こども園園長、教育学部幼児教育学科長を経て、2024（令和6）年4月から佛教大学学長。